

CVD療法（エンドキサン+オンコビン+ダカルバジン）を受ける患者さんへ

傷病名： 褐色細胞腫

【患者さん用クリニカルパス】

Ⅰ D： 患者氏名： 様 症状： 号室

日付	月 日（ ）	月 日（ ）	月 日（ ）	月 日（ ）	
経過	入院当日	化学療法施行日	化学療法施行日	退院日	
達成目標	治療の経過がわかる。	予定通りに治療が終了する。 症状出現時適切な対処が受けられる。	予定通りに治療が終了する。 症状出現時適切な対処が受けられる。	退院指導の内容がわかる。	
検査	入院後、血液検査を行います。 必要時尿検査を行います。 			退院前に血液検査を行い、骨髄抑制（白血球減少、貧血血小板減少）の有無を確認します。 骨髄抑制が許容範囲内であれば退院となります。	
治療 ・ 処置	点滴の針を挿入します。	抗癌剤は、褐色細胞腫に効果がある エンドキサン、オンコビン、ダカルバジンという3種類のお薬を使用します。 		《抗癌剤の発症時期による症状と対処方法について》 【投与直後～数時間】 発疹、発赤などのアレルギー症状→抗アレルギー薬投与 【投与から1～2日後】 吐き気、食欲不振など→吐き気止めの注射、内服薬の投与	
		①15分	パロノセトロン、デキサートという吐き気止めの点滴をします。	①30分 ダカルバジンという 抗癌剤の点滴をします。	【投与から数日間経過してから】 白血球減少→G-CSF製剤（白血球を増やす薬）を注射 貧血→輸血（頻度は稀です） 血小板減少→血小板投与（頻度は稀です） 【投与から1～2週間経過してから】 口腔粘膜炎→口腔内を清潔に保ちましょう 味覚の変化→味付けの工夫、うがいなど
		②2時間	エンドキサンという抗癌剤の点滴をします。 エンドキサンの副作用（出血性膀胱炎）を予防するため、投与時、4時間後、8時間後にウロミテキサンという注射をします。		
		③5分	オンコビンという抗癌剤の点滴をします。		
		④30分	ダカルバジンという抗癌剤の点滴をします。		
		抗癌剤ではありませんが、0時から翌日まで点滴が続きます。		抗癌剤投与の他に0時まで点滴が続きます。	
説明 ・ 指導	入院生活について説明します。 薬剤師より化学療法の薬剤について説明します。 予測される副作用および予防法・出現時の対処方法について説明があります。	点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったらすぐに教えてください。 吐き気が強い場合は、すぐに教えてください。症状により点滴や注射をして症状の改善を図ります。 尿量が少ない場合は、必要に応じて利尿剤の投与を行います。 ダカルバジンというお薬は遮光が必要なので、投与時はカーテンを閉め、遮光にご協力お願いします。			
内服 ・ 点滴	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 常用薬は基本的に継続とします。	吐き気予防のためアプレピタントというお薬を内服します。 	吐き気予防のためアプレピタント、デカドロンというお薬を内服します。		
食事	基礎疾患（高血圧・糖尿病）に応じて、治療食をお出しすることがあります。	吐き気が出ることがあります。食事内容を変更したいときはお申し出ください。 			
生活 ・ 行動	自由に歩いてかまいません。	特に行動制限はありません。 白血球が減少すると抵抗力が弱くなるため、人混みは避け、うがい・手洗いをしっかりと行い感染に注意してください。 血液データに応じて日常生活の制限がある場合があります。 	退院手続きが完了するまで、病室でお待ちください。		
清潔	シャワー浴ができます。	抗癌剤投与時以外はシャワー浴ができます。		退院後は入浴できます。	
その他	入院後に熱が出た場合は、化学療法を延期して一旦退院していただくこともあります。 入院に付きそいは必要ありません。	抗癌剤点滴開始初期（特に10分以内）に発疹や顔が赤くなってほてるなどのアレルギー症状が現れることがあります。 ほとんどは一時的なもので治まりますが、症状が出現した場合は申し出てください。			

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。